

# R5 苫西小 学校評価（前期結果） 児童・保護者・教職員 3者比較

## 1. 学力・体力の向上／豊かな心の育成（肯定的回答数の割合 % \* 概数表示）

	充実した学校生活	わかる・楽しい授業	ICT機器の活用	運動の喜び・習慣	相手意識ある挨拶	適切な児童理解・支援	外国語教育の充実
子ども	84	92	73	91	89	91	96
保護者	79	87	77	82	78	81	87
教職員	93	80	53	93	80	87	93

### 1. 学力・体力の向上／豊かな心の育成(3者比較)

充実した学校生活

外国語教育の充実

わかる・楽しい授業

全体的に肯定的な評価となっており、3者間の違いも、一部を除き比較的小さい結果です。  
ICT活用については、学校課題の1つとしておさえ推進してまいります。

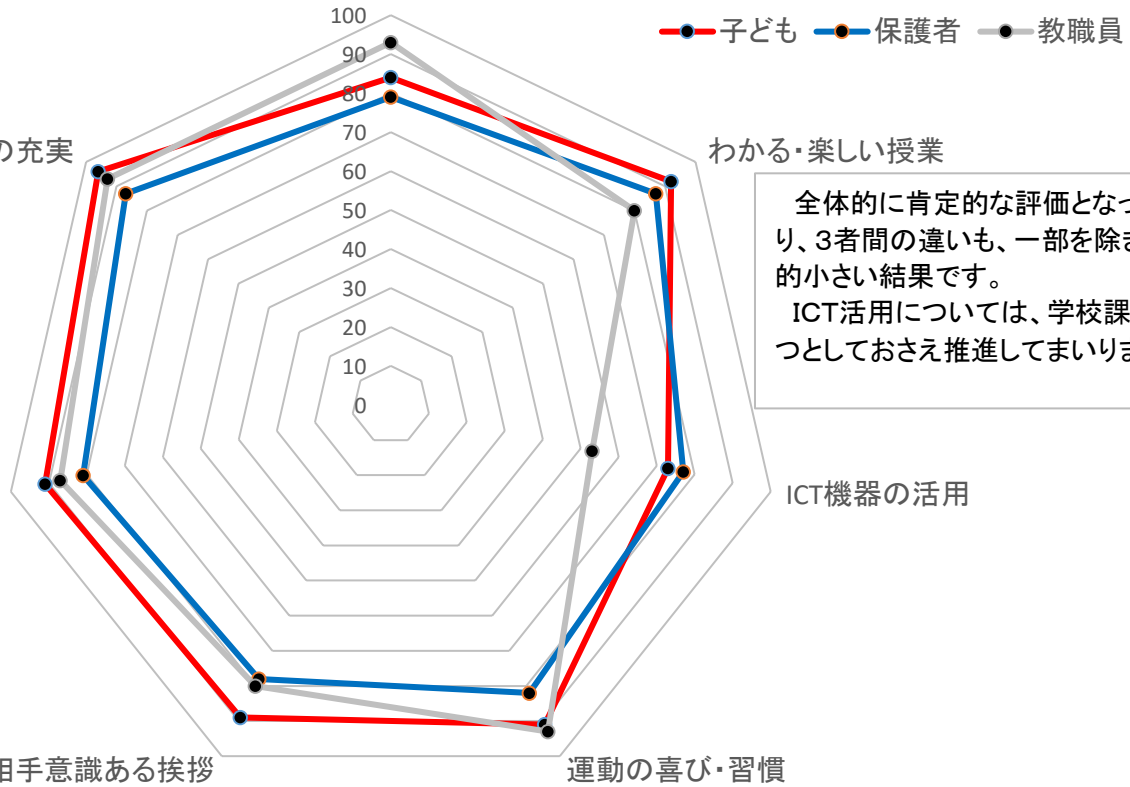
今年度から、3者を相互比較できる形に変更しました。結果の妥当性や3者間の違いを明確にすることが目的です。

適切な児童理解・支援

ICT機器の活用

相手意識ある挨拶

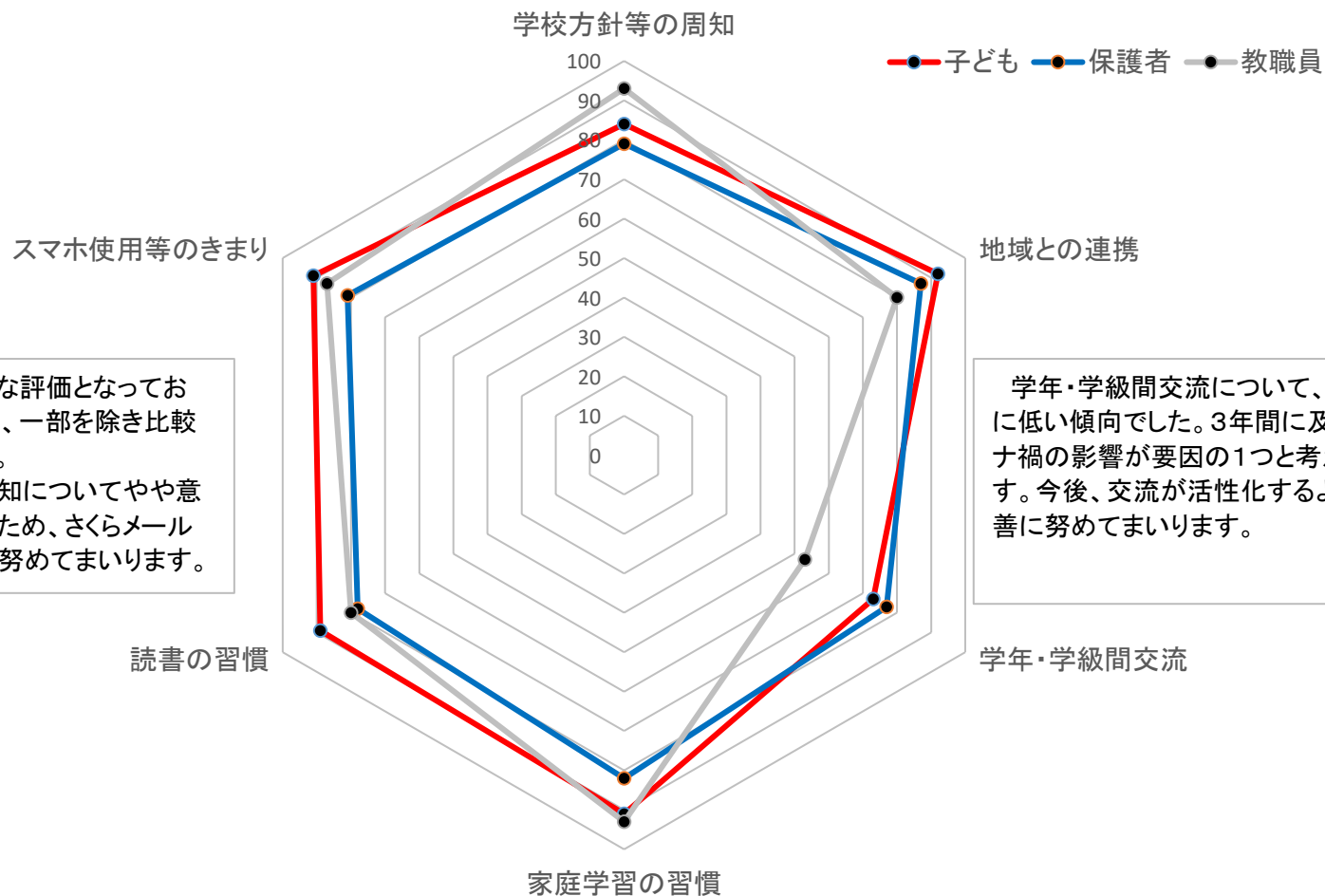
運動の喜び・習慣



## 2. 家庭や地域との連携 (肯定的回答数の割合 % \*概数表示)

	学校方針等の周知	地域との連携	学年・学級間交流	家庭学習の習慣	読書の習慣	スマホ使用等のきまり
子ども	84	92	73	91	89	91
保護者	79	87	77	82	78	81
教職員	93	80	53	93	80	87

### 2. 家庭や地域との連携(3者比較)



全体的に肯定的な評価となっており、3者間の違いも、一部を除き比較的小さい結果です。  
学校方針等の周知についてやや意識の差が見られるため、さくらメールの活用など改善に努めてまいります。

学年・学級間交流について、3者ともに低い傾向でした。3年間に及ぶコロナ禍の影響が要因の1つと考えられます。今後、交流が活性化するように改善に努めてまいります。

## R5 苫西小 学校評価(前期)～保護者の意見と学校の見解～

保護者の意見(記述内容)を整理・要約し、学校の見解と併せて以下に掲載します。

### 【学校の良い点/感謝】

- ・いつも一生懸命に指導してくださりありがとうございます(複数)
- ・教職員の連携がとれていて忙しい中でも子どもの様子について教えてくれる。気軽に何でも相談できる先生の存在が大切だと思い、とても感謝している(複数)
- ・子どもたち一人ひとりをよく見て適切な指導をいただいている(複数)
- ・校内にいると学年問わず挨拶をしてくれる子が多い(複数)
- ・児童の身近に図書があり、司書さんの選り抜かれた本がすごく良くてありがたい(複数)

(その他の個人意見)

- ・宿泊学習の帰校予定メールにほっとした/水泳授業が楽しみ/家庭学習の強化週間が良い/学年の垣根を越えた交流や教職員の声掛けが多く安心/高学年が低学年の世話をするなどみんなが良い学校にしようとする思いが伝わり素敵/学校行事が通常通りできるようになり良かった。
- ★学校から～本校の教育について理解と信頼をいただけていることに感謝を申し上げます。保護者の皆様の前向きな意見や姿勢がプラスの教育効果を生んでいるとあらためて実感しています。

### 【学校の改善点/その他】

- ・参観日～外国語の授業が見られると良い/保護者がうるさく先生の話が聞こえない時がある。
- ★学校から～外国語は他校の専科教諭とALTが指導しており、勤務日が決まっている関係で参観日公開が難しいのですが工夫したいと考えます。参観マナーについては事前に周知徹底をしますが、皆様には児童の良き手本となっていただけますことを切に願っております。
- ・学期末のテストなど体力テストのようにトップ3位まで掲示してはどうか?体力テストの順位に入りたくて頑張っているのでも、学力でも同じ効果が得られる可能性もあると思う。
- ★学校から～体力テストでは、「可能性への挑戦」として児童の意欲付けに一定の効果が認められる一方、学期末テストには体力テストと違い「到達目標」があり、全ての児童が「到達目標」を目指して学び続ける性格上、順位は馴染まないと判断しています。
- ・(休み時間に先生の指示で)楽器演奏をできる子ができない子に教える機会があったと聞いたが、先生が「できる子・できない子を示すこと」と「休み時間に行くこと」に疑問を感じる。
  - ・様々な先生が学級を指導する際、児童への対応に統一感がないような状況が伺える。児童への負担にならないように配慮した指導環境をお願いしたい。
  - ・授業中の立ち歩きやおしゃべりなど、子どもの気になる行動を指導していない様子が見られる。
  - ・子どもに平等に接する事が大事だと思う。
- ★学校から～児童対応の観点からまとめてお伝えします。学校では「できる子」「できない子」ではなく「できている子」「できていない子」とおさえ、「支え合う」場面を意図的に設定することがあります。そのような中で多様な人間が共に生きていく将来像を目指しています。それは、学習面だけではなく行動面においても同じです。平等な対応を大切にしながらも、違いを尊重して「支え合う」対応も大切にしていきます。但し、私たちの力不足による場合もあります。場面や状況にもよりますが、指導観の統一の問題などあらためて指導を見直してまいりたいと考えます。

・11時終了なら運動会の競技を1種目でも増やしてほしい。毎年同じ種目でつまらない。

★学校から～お気持ちは重々承知しております。しかし、運動会の主役は「子どもたち」であり、必要な力を身につけさせるために行うことが優先されます。詳細は「学校だよりNo.3巻頭言」をお読みいただけますと幸いです。ご理解、ご協力をお願いいたします。

・学級通信などをさくら連絡網で流してもらいたい。

★学校から～後期より毎週（高学年は隔週）時間割を送信しております。今後、少しずつ他のお便りなどにも拡げていきたいと考えています。

・低中学年は挨拶しても返ってくるのが少ない（1学期）。

・納入袋の配付が遅い。支払いがある場合は給料日を考慮してほしい。

・黄砂の影響のため咳で苦しい思いをした。子どもたちの健康を守る意識が低いと感じた・プールの改修工事を行うならば脱衣室もキレイにしてほしい。

・低学年が自転車で左右を確認せずに道路を横断したり、道路中央を走ったりする姿が見られる。このような危険行為、事故や不審者情報等をさくら連絡網で連絡すると良い。

★学校から～一つ一つのご意見について、学校としてできること、保護者と共にできること、市教委の協力を得てできることに分けて整理・検討した上で改善を進めて参ります。

#### 【保護者の皆様へ】

アンケートへのご協力、ありがとうございました。皆様の貴重なご意見をこれからの教育活動に生かしてまいりたいと思います。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。